

目指すべき姿

やりがいのある仕事に就き、希望する人が結婚・出産し、若者・女性が前向きに挑戦していく「世界で活躍する人を育む地域」を実現していく。

県市の取組の方向性

区分	重点政策分野	取り組むべき内容		取組に係る役割分担等の現状・今後の方向性
若者	キャリア形成を意識した人づくり	成長段階に応じたキャリア教育	・小・中学校段階における社会性の習得、中学校での職場体験 ・高校におけるインターンシップの実施 ・大学生のインターンシップの実施 など	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 公立の小中学校は市町村が設置している。公立の高等学校は、県や名古屋市などが設置し、県は広域調整を担当している。 公共職業訓練においては、県が高等技術専門校を設置している。 留学生支援などについては、県・市双方が実施している。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育分野においては、県・市が、キャリア教育、モノづくり人材やグローバル人材育成といった課題認識を共有しつつ、それぞれが果たすべき役割を認識し、主体的に取り組んでいくことが必要。なお、県から市町村、教育委員会から学校への分権の流れを加速することも必要。 ○留学生に対する支援などでは、県・市それぞれの強みを生かした役割分担や、相互連携により、相乗効果を発揮させていくことが必要。
		高度なモノづくり人材等の育成	・愛知総合工科高等学校の新設、工業高校及び高等技術専門校におけるモノづくり人材の育成 ・高度な科学技術を担う人材の育成 など	
		職業能力の開発	・新規学卒者や離職者を対象とした就職に直結する公共職業訓練の実施 など	
	グローバル人材の育成	グローバル人材の育成	・小中高における英語教育の強化 ・留学生の就職、海外とのネットワークづくり など	
女性	子ども・子育て応援	保育サービス、放課後児童クラブの充実	・待機児童の解消や、休日・延長保育等、保護者の多様な働き方に対応した保育サービスの充実 ・放課後児童クラブ整備の促進など放課後児童対策の充実 など	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育を始めとする子育て支援サービスは主に市町村が担っており、各地域で市町村独自の取組が展開されている。県は広域調整や県全体のサービス水準の向上に向け、市町村を支援している。なお、保育所の設置認可など、県と同等の事務を名古屋市が担当しているものも多い。 ・男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスの啓発事業などでは、県・市双方が実施している。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対住民サービスの実施に当たっては、地域特性を踏まえておくことが重要であり、名古屋市をはじめ市町村の主体的な取組を尊重しつつ、県は広域的観点から、県内のサービス水準の確保や先駆的取組の普及といったバックアップを行っていくことが必要。 ○啓発事業など県・市双方が実施する事業においては、相互連携により、相乗効果を発揮させていくことが必要。
		子育て家庭に対する支援	・子育て家庭に対する経済的支援 ・子育て応援の日など社会全体で子育てを応援する気運の醸成 など	
	働く場における女性の定着と活躍の場の拡大	継続就業・再就職支援、起業支援	・相談窓口の充実、ハローワーク等との連携強化による再就職支援 ・起業を希望する女性を対象にしたセミナーの開催や相談の実施、交流の場づくり など	
		女性の活躍の場の拡大	・女性の活躍の場の拡大に向けた企業等の意識改革 ・方針決定の場に参画しうる女性の人材育成や女性のネットワークづくり など	
	ワーク・ライフ・バランスの推進	ワーク・ライフ・バランスの推進	・ファミリー・フレンドリー企業の登録促進や、県・市及び経済団体等が参画する「あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会」を通じた働き方の見直しや意識改革などの普及啓発 など	